

平成 2 年 9 月 招 集

第 3 回 館 山 市 議 会 定 例 会 会 議 録

館 山 市 議 会

目 次

◎第1号（9月10日）

開 会	2
議長の報告	3
議案の配付	3
会議録署名議員の指名	3
会期の決定	3
会議日程の決定	4
議案第37号、議案第38号、認定第1号～認定第7号 （提案理由の説明）	4
市長のあいさつ	8
延 会	10
本日の会議に付した事件	10

◎第2号（9月12日）

開 議	14
行政一般通告質問	14
流山源次郎君の質問、当局の応答	14
神田 守隆君の質問、当局の応答	32
辻田 実君の質問、当局の応答	47
永井 龍平君の質問、当局の応答	57
散 会	71
本日の会議に付した事件	71

◎第3号（9月17日）

開 議	74
議案第37号	74
神田 守隆君の質疑、当局の応答	74

委員会付託	77
議案第38号	77
神田 守隆君の質疑、当局の応答	77
委員会付託	82
議長の報告	82
延 会	83
本日の会議に付した事件	83

◎第4号（9月18日）

開 議	86
認定第1号～認定第7号	86
神田 守隆君の質疑、当局の応答	87
山中金治郎君の質疑、当局の応答	93
決算審査特別委員会の設置・付託・委員の選任	95
延 会	96
本日の会議に付した事件	96

◎第5号（9月26日）

開 議	99
議案の配付	99
議案第37号	99
建設経済委員会委員長報告	99
採決	100
議案第38号	101
総務委員会委員長報告	101
採決	103
閉会中の継続審査について	103
議長の報告	103
認定第1号～認定第7号	103

決算審査特別委員会委員長報告	104
採決	108
議案第39号	110
説明	110
委員会付託の省略	110
採決	111
議案第40号	111
説明	111
委員会付託の省略	112
採決	112
各常任委員会所管事務の閉会中の継続調査について	113
閉 会	113
本日の会議に付した事件	113

第 3 回 館山市議会定例会会議録

(第 1 号)

1 平成2年9月10日(月曜日)午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 27名

1 番 脇田 安保	2 番 永井 龍平
3 番 田沢 勝信	4 番 庄司二三男
5 番 岩村 勝弘	6 番 山崎 雅己
7 番 生稲 隆	8 番 鈴木 勝美
9 番 山口 康雄	10 番 鈴木 忠夫
11 番 神田 守隆	12 番 榎本 春光
13 番 山中金治郎	14 番 小宮 利夫
15 番 横溝 功	16 番 石井 昌治
17 番 石井 謀	18 番 日下 君敏
19 番 川名 正二	20 番 福原 勤
21 番 辻田 実	22 番 黒川 平治
23 番 流山源次郎	25 番 渡辺 昭夫
26 番 近藤 好雄	27 番 林 豊
28 番 飯田 義男	

1 欠席議員 なし

1 出席説明員

市長 半澤 良一
収入役 渡辺 弘
総務部長 二通 英雄
経済部長 安西 良一
教育委員会 正木 高剛
委員 会長
選挙管理委員会 加藤 利
委員 会長
監査委員 鈴木 重司
農業委員会 斎藤 明
会長

助役 小幡 清之
市長公室長 錦織 茂
民生部長 佐藤 澄雄
水道課長 鈴木 信一
教育委員会 福原 修
委員 会長
選挙管理委員会 庄司 徹
事務局書記 会長
監査事務局 熊坂 桂一
局長
農業委員会 岩城 昭
事務局 会長

1 出席事務局職員

事務局 長 川上 義雄

事務局 長 補 佐 兵藤 恭一

書 記 鈴木 哲

書 記 鈴木 修一

書 記 加藤 浩一

1 議事日程（第1号）

平成2年9月10日午前10時開議

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 会議日程の決定

- 日程第4
- 議案第37号 館山市国民宿舎利用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
 - 議案第38号 平成2年度館山市一般会計補正予算（第1号）
 - 認定第1号 平成元年度館山市一般会計歳入歳出決算の認定について
 - 認定第2号 平成元年度館山市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
 - 認定第3号 平成元年度館山市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について
 - 認定第4号 平成元年度館山市ユースホステル特別会計歳入歳出決算の認定について
 - 認定第5号 平成元年度館山市学童災害共済事業特別会計歳入歳出決算の認定について
 - 認定第6号 平成元年度館山市水道事業特別会計収支決算の認定について
 - 認定第7号 平成元年度館山市国民宿舎事業特別会計収支決算の認定について

開 会 午前10時02分

◎議長（渡辺昭夫君） 本日の出席議員数26名、これより平成2年第3回市

議会定例会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

議長の報告

◎議長（渡辺昭夫君） 本定例会議案審議のため、地方自治法第 121条の規定による出席要求に対し、お手元に配付のとおり出席報告がありましたので御了承願います。

なお、監査委員から6月乃至8月実施の監査結果が報告されております。お手元に配付の印刷書により御了承願います。

議案の配付

◎議長（渡辺昭夫君） ただいま市長から議案並びに説明書の送付がありました。

議案並びに説明書を配付いたさせます。

配付漏れはありませんか。 — 配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

会議録署名議員の指名

◎議長（渡辺昭夫君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

6番議員山崎雅己君、22番議員黒川平治君、以上両君を指名いたします。

会期の決定

◎議長（渡辺昭夫君） 日程第2、会期の決定を行います。

本定例会の会期につき、議会運営協議会の意見は本9月10日から9月26日までの17日間ということであります。

お諮りいたします。会期を17日間と定めますことに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（渡辺昭夫君） 御異議なしと認めます。よって、会期は9月10日から9月26日までの17日間と決定いたしました。

会議日程の決定

◎議長（渡辺昭夫君） 日程第3、会議日程の決定を行います。

お落りいたします。お手元に配付の会議日程表は本定例会の大体の日取り予定であります。議会運営協議会の意見により作成いたしました。本定例会をおおむねこの会議日程表により運びますとともに、その間議案の追加または議事の都合等によりましてその都度これを改めることにして、大体このようにいたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（渡辺昭夫君） 御異議なしと認めます。よって、会議日程は決定いたしました。

議案の上程

◎議長（渡辺昭夫君） 日程第4、議案第37号、議案第38号及び認定第1号乃至認定第7号の各議案を一括して議題といたします。

提案理由の説明

◎議長（渡辺昭夫君） これより各議案に対する提案理由の説明を求めます。
市長。

（市長半澤良一君登壇）

◎市長（半澤良一君） 本日ここに第3回市議会定例会を招集いたし、当面する諸案件について御審議をお願いすることといたしましたが、議員の皆様方には御多忙のところ御出席をいただき、ありがとうございます。

今回提案いたします案件は、条例議案1件、補正予算1件及び認定7件でございます。以下、その概要について御説明申し上げます。

まず、議案第37号館山市国民宿舎利用料徴収条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、環境庁からの国民宿舎利用料標準の一部改定通知により宿泊利用料が引き上げられたことに伴い、千葉県国民宿舎連絡協議会で協議した結果等に基づきまして、運営の安定とサービスを確保するため、宿泊利用料を10月1日から改定しようとするものでございます。

次に、議案第38号平成2年度館山市一般会計補正予算（第1号）でございますが、歳入歳出の補正といたしまして歳入歳出それぞれ1億 3,638万 8,000円を追加し、総額 116億 7,138万 8,000円としようとするものでございます。

歳出の主な内容といたしましては、総務費では、市庁舎修繕工事請負費で 200万円、市有地の整備のため、排水等整備工事請負費で 150万円、汐切山掘削工事請負費で 430万円、掘削工事に伴う地上物件補償費で 110万円、また国際交流事業等を推進するため、参与報酬で 101万 4,000円、主要地方道館山白浜線バイパスの建設に伴うコミュニティセンター周辺の利用計画策定業務委託料で 750万円、農業委員会委員選挙費で 182万 7,000円の減、これは無投票によるものでございます。衛生費では、負傷療養中の職員の補充のため、臨時職員賃金で 106万円、農林水産業費では、水田農業確立対策推進用の機械器具購入費で 417万 5,000円、漁業協同組合合併促進事業補助金で 100万円、東京湾漁業振興対策事業として実施する操業安全対策事業及び流通等改善施設整備事業への補助金で 247万 5,000円、商工費では、リゾート文化醸成調査事業負担金で 120万円、インダストリアルパーク基本計画策定業務委託料で 820万円、これは新たな企業立地を推進するため、基盤整備の基本計画を策定しようとするものでございます。土木費では、市道の交差点改良、側溝流末整備、舗装補修及び落石防除の工事請負費で 6,600万円、八幡都市下水路築造工事委託料で 540万円、これはＪＲ富士踏切横断部の工法変更に伴う工事費の増によるものでございます。また、城山公園整備工事といたしまして、駐車場整備、くじゃく園管理棟撤去等の工事請負費で 663万 4,000円、高ノ島公園護岸復旧工事請負費で 200万円、教育費では、北条小学校校舎等改修工事請負費で、入札残によりまして 295万 6,000円の減、第一中学校倉庫新築工事請負費で 100万円、房南中学校教室床改修工事請負費で 408万円、これは7月に緊急的に実施した房南中学校屋根改修工事請負費に流用したため、それぞれ補てんしようとするものでございます。災害復旧費では、土木施設災害復旧費で 1,330万円。

以上、歳出の主な内容につきまして御説明申し上げましたが、これらの財

源といたしまして、県支出金及び館山市水田農業確立対策基金繰入金等特定財源 1,557万 1,000円、前年度繰越金の一般財源 1億 2,081万 7,000円をもって充当しようとするものでございます。

次に、認定第1号乃至認定第7号の諸案件は、いずれも平成元年度館山市一般会計外6特別会計の歳入歳出決算の認定につきまして、地方自治法等の規定に基づき、監査委員の意見を付して議会の認定をお願いするものでございます。

平成元年度の我が国経済は、外需が引き続き減少したものの、個人消費が堅調に推移し、設備投資が増勢を続けるなど内需は引き続き増加し、拡大局面にあり、また鉱工業生産も増加傾向にあり、雇用情勢は引き続き改善されてまいりました。一方、経常収支におきましては、依然として水準は高いものの、輸入が製品類を中心に増加していることなどから黒字幅は縮小傾向にあり、このような中で政府は主要国との政策協調を推進し、為替レートの安定を図りつつ、内需を中心とした景気の持続的な拡大を図るとともに、対外不均衡の是正、調和ある対外経済関係の形成に努めるため、機動的かつきめ細かな経済運営に努めてきたところでございます。

一方、地方財政におきましては、地方債残高及び地方交付税特別会計の借入金残高等累積した多額の借入金を抱えるなど引き続き厳しい状況にあることから、おおむね国と同一の基調により、歳入面においては地方債の抑制に努めるとともに、地方税負担の公平適正化の推進と地方交付税の所要額の確保を図り、歳出面においては経費全般についてさらに節減合理化を図るとともに、生活関連施設等の整備と地域の特性を生かした魅力ある地域づくり、ふるさとづくりを推進するため、必要な地方単独事業費の確保に配慮する等、限られた財源の重点的な配分と経費支出の効率化に徹することが要請されました。このため、引き続き行財政の刷新、簡素効率化の推進を図るとともに、経済の動向に即応した機動的、弾力的な運営にも配慮し、節度ある行財政運営を行うこととされました。

本市におきましては、このような国及び地方を取り巻く厳しい財政環境の中で、常に既存の事務事業の見直しを行うなど行財政改革を進めるとともに、

税収入の確保、地方債の繰り上げ償還等財政の弾力性の確保を基本に、計画的な行財政運営に努めてきたところでございます。具体的な予算の執行に当たりましては、市の基本構想で定めた将来都市像「活力ある文化福祉都市」の実現に向け、施策の緊急性、真に必要な施策の検討など各種施策の優先順位の厳しい選択の中で、地域の振興、福祉及び教育文化の向上、生活関連施設の整備充実を計画的に推進し、市民生活の安定向上に努めてまいりました。

この結果、一般会計におきましては歳入総額 129億 5,345万余円で、対前年度比18億 4,820万余円の増、歳出総額 123億 9,447万余円で、対前年度比20億 5,083万余円の増となり、道路新設改良事業、市道1031号線道路改良事業及び土木施設災害復旧事業に係る繰越額 2,425万余円を除く実質収支は5億 3,473万余円となっております。

また、特別会計におきましては、運営の合理化、適正化を図りながら、独立採算制の確保に努めました。

国民健康保険会計におきましては、医療費が10.1%増加し、老人保健会計の医療費におきましては 4.9%の増となっております。なお、実質収支につきましては、国民健康保険会計1億 4,518万余円、老人保健会計 403万余円となっております。

水道事業会計におきましては、作名ダムの水源を確保するため揚水施設改良工事を施行したほか、神余ダムしゅんせつ工事の施行、神余取水施設増設工事等既存施設の整備拡充に努めました。収益的収支につきましては 3,069万余円の純利益を生じ、剰余金として翌年度に繰り越すとともに、資本的収支につきましては1億 4,929万余円の不足が生じ、減債積立金と過年度分損益勘定留保資金で補てんすることといたしました。

国民宿舎事業会計におきましては、経営の安定を図るため、利用者増大に向け、前年度に引き続きコース別の特別定食の企画実施及び老人割引利用等より一層のサービスの向上に努めてまいりました。また、一般会計からの出資金を財源といたしまして一般会計からの借入金を償還し、経営の健全化を図りました。その結果、収益的収支につきましては 1,212万余円の純利益を生じましたが、資本的収支につきましては 532万余円の不足が生じたため、

当年度損益勘定留保資金等をもって措置いたしました。

以上、平成元年度の決算につきましてその概要を申し上げましたが、個々の施策につきましては決算に係る主要な施策の成果に関する報告及び歳入歳出決算事項別明細書等により御了承賜りたいと存じます。

以上、各議案に対する提案理由について御説明申し上げましたが、この会期中追加議案といたしまして人権擁護委員候補者の推薦について及び館山市固定資産評価審査委員会委員の選任について議会の同意を得たく、上程をお願いする予定でございます。

よろしく御審議のほどお願いいたします。ありがとうございました。

◎議長（渡辺昭夫君） 以上で提案理由の説明を終わります。

市長のあいさつ

◎議長（渡辺昭夫君） この際、市長から発言を求められております。暫時発言を許します。

市長。

（市長半澤良一君登壇）

◎市長（半澤良一君） この際、議長並びに議員の皆様方のお許しを得て、若干の時間をいただき、現在の私の心境を申し述べたいと存じます。

私は本年12月10日の任期満了をもって市長の職を退任いたしたいと存じております。

20世紀の初頭のドイツの社会学者マックスウェーバーに「職業としての政治」という著作がございます。これはマキアベリの「君主論」と並んで、政治学を学ぼうとする若い人々や現に政治を本業とするいわゆる政治家の必読の古典的名著と言われております。この著作の中で、彼は政治家として欠くことのできない3つの資質を挙げております。その3つとは情熱、責任感、判断力であります。情熱とは、自己の信念、すなわち政治を通じて実現しようとする理念、理想を確立、その実現に向かって飽くなき努力を続ける情熱であります。ある意味では政治理念の確立でございます。責任とは、その政治行動の結果が予測されたものであれ、また当初の意図と全く食い違い、ま

さに正反対の結果になった場合でもおのれの行動に全責任を持つことであります。判断力とは、事を処するに当たり、幅広い知識と深い教養に立脚して、長期的展望に立って判断する力であります。目先の利害で判断し、発言するのはボスであってもリーダーではありません。激変する時代の中であって、直面する問題の応急対策は必要であります。他面将来を見据えた布石、それがどんなに犠牲と苦痛を伴うものであっても毅然として手を打つ先見性が政治家には求められるのであります。

私はこの3つの資質のいずれか1つでも、特に理念実現への情熱が失われたときが市長退任のときであると考えてまいりました。今静かにこの3つの資質について反省しますとき、必ずしも十分とは言えないものの、決して人後に落ちるものではないと自ら確信をいたしております。しかしながら、人間はその人生の中で事に当たって出处進退を誤ってはなりません。ただただ前進するのみでなく、退くことを知らなければならないと思います。これは私の人生観であります。

現在館山市政の基本的諸施策は既に路線が確立されております。市発展の最重要課題であった道路網整備と水問題は、東関東自動車道館山線並びに高規格道路富津館山線という形で、また水問題は、8月1日発足の南房総水道企業団の設立により、いずれも平成7年には実現されることとなっております。近代都市としての諸施策も、西口再開発は既に事業認可を受け、事業を実施中であり、また公共下水道も平成3年に事業認可を受け、平成11年に一部供用開始の予定であり、順調に進捗をいたしております。また、リゾート法による2つの重点整備地区の指定により、高質なリゾート地としての輝かしい未来の展望が開けております。あとはただこれらの路線の上を走るのみであります。

昭和49年12月11日市長就任以来ここに16年、「人間尊重、薫り高い文化福祉都市」の実現を目指し、議員の皆様方、市民各位、さらにまた助役を初め職員の諸君の協力を得て今日に至りました。銀行も融資を渋るような惨たんたる財政状況の中から財政再建、行政改革を断行しつつ、5つの目標でありました環境の改善、教育の振興、福祉の充実、産業の振興、観光開発にいさ

さかなりとも寄与し得たことに大きな喜びを感じております。今日の館山市は、南房総の中核都市として、学校を初め公共諸施設の整備、財政状況、行政機構の充実、OA化を中心とする行政の効率化等、ハード面においてもソフト面においても全国いずれの都市と比べても決して恥ずかしくない都市に変貌しつつあることは私の誇りでございます。

11月18日に予定される市長選挙におきまして市民の信任を得て就任される新市長は、確立された既定路線に乗って着実に諸施策を実施し、市民がここに生まれ育ち、生活することに人生の喜びを感じるような活力のある生活文化の薫り高い都市実現に大きく歩を進めることを期待し、議会における最後のごあいさつといたしたいと存じます。

長い間ありがとうございました。（拍手）

延 会 午前10時25分

◎議長（渡辺昭夫君） お諮りいたします。

本日の会議はこれにて延会いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（渡辺昭夫君） 御異議なしと認めます。よって、本日はこれにて延会することに決しました。

なお、明11日は議案調査のため休会、次会は9月12日午前10時開会とし、その議事は通告による行政一般質問を行います。

この際申し上げます。一般議案及び補正予算に対する質疑通告の締め切りは9月13日正午でありますので、申し添えます。

◎本日の会議に付した事件

- 1 会議録署名議員の指名
- 1 会期の決定
- 1 会議日程の決定
- 1 議案第37号及び議案第38号

1 認定第1号乃至認定第7号